

目標達成計画

作成日: 平成29年3月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	6年の月日が流れる中で、考え方や見方に固定観念ができてしまっているため現状に対しての客観的な判断ができていない。また法人の理念・あおぞらの理念に対してズレが出てきてしまっている。	全職員が初心に立ち返り、現状に対して真摯に向き合い受け止める。法人の理念・あおぞらの理念を浸透させ方向性を統一する。	個別の面談を毎月行い、振り返りの機会を増やす。毎月、全体での話し合いの時間をもち方向性の統一を図る。他施設への研修を行い、客観的に自施設の事を考える機会をもつ。	12月
2	36 38 48	1日の流れに合わせた動きが中心になっており個々に合わせた対応が出来ていない。	その日の体調や気分の変化に気付き対応を考え、その人らしく過ごして頂く為個々を尊重した支援を実践する。	職員が随時意見や提案を出し合い的確な判断と指示ができる環境を作り支援の向上とチームケアを意識して実践に向けていく。	12月
2	34 38 48	認知症状等、日々、変化する入居者様の状態や突発的な行動への柔軟な対応が不足している。	認知症理解や専門性を高めて入居者様一人ひとりにより柔軟な対応が出来るグループホームを目指す。		12月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。